

# HD-U2 シリーズ

## ユーザーズマニュアル

はじめに .....	7	<b>1</b>
セットアップ .....	9	<b>2</b>
使いかた .....	13	<b>3</b>
フォーマット .....	17	<b>4</b>
付録 .....	29	<b>5</b>



インターネットで弊社製品のQ&A情報を入手できます。

<http://buffalo.melcoinc.co.jp/qa/index.html>

# 本書の使いかた

本書を正しくご活用いただくための表記上の約束ごとを説明します。

## 表記上の約束

注意マーク ..... **△注意** に続く説明文は、製品の取り扱いにあたって特に注意すべき事項です。この注意事項に従わなかった場合、身体や製品に損傷を与える恐れがあります。

次の動作マーク .... **▶次へ** に続くページは、次にどこのページへ進めばよいかを記しています。

## 文中の用語表記

- Windows搭載パソコンの場合、本書では、次のようなドライブ構成を想定して説明しています。  
C: ハードディスク  
D: CD-ROMドライブ
- 文中 **□** で囲んだ名称は、ダイアログボックスの名称や操作の際に選択するメニュー、ボタン、チェックボックスなどの名称を表しています。
- 本書に記載されているハードディスク容量は、1GB = 1000<sup>3</sup>byteで計算しています。OSやアプリケーションでは、1GB = 1024<sup>3</sup>byteで計算されているため、表示される容量が異なります。
- 本書では、Microsoft Windows Millennium EditionをWindowsMe、Windows98 Second EditionをWindows98SEと表記しています。

# 目次

## 1 はじめに ..... 7

特長 ..... 7

各部の名称 ..... 7

電源の ON/OFF ..... 8

## 2 セットアップ ..... 9

セットアップのながれ ..... 9

Windows 搭載パソコンでのセットアップ手順 ..... 10

Macintosh でのセットアップ手順 ..... 11

## 3 使いかた ..... 13

使用上の注意 ..... 13

本製品の取り外しかた ..... 15

WindowsMe ..... 15

Windows98SE/98 ..... 15

WindowsXP/2000 ..... 16

Macintosh ..... 16

## 4 フォーマット ..... 17

ご注意 ..... 17

フォーマットのしかた ..... 17

WindowsXP/2000 をお使いの方へ ..... 18

WindowsXP/2000/Me/98SE/98 をお使いの場合 ..... 19

DVD 作成やキャプチャを行う

(1 ファイルが 4GB を超える可能性がある) 場合【WindowsXP/2000 のみ】 21

Mac OS 9.0.4 ~ 9.2.2 .....	26
Mac OS X 10.0.4以降 .....	27

## **5** 付録 ..... 29

<b>バックアップ</b> .....	29
バックアップの必要性 .....	29
バックアップ用のメディア .....	29
バックアップデータの復元（リストア）.....	29
<b>メンテナンス</b> .....	30
ハードディスクのエラーチェック（スキャンディスク）.....	30
ハードディスクの最適化（デフラグ）.....	30
<b>特定のソフトウェアが使用できない場合</b> .....	30
Disk Formatter のアンインストール（Windows）.....	31
<b>仕様</b> .....	32

# 1

## はじめに

本製品を使用する前に知っておいていただきたいことを説明しています。

### 特長

USBポート(シリーズA)に接続可能  
パソコンやUSBハブのUSBポート(シリーズA)に接続  
できます。

USBポートが装備されていないパソコンを使用  
している場合は、別売の弊社製USBポートを  
使用してください。

プラグ&プレイ、ホットプラグに対応  
本製品やパソコンの電源が入った状態でも、ケーブ  
ルを抜き差しして自由につなぎ替えられます。

ただし、ケーブルを抜く際は、必ず定められた手  
順に従って作業してください。【P15「本製品  
の取り外しかた」】

本製品を、USB2.0で規定されているHSモード( )  
で使用するには、弊社製USB2.0インターフェース  
(またはUSB2.0に対応したパソコン本体)が必要  
です。

最大転送速度480Mbps(理論値)

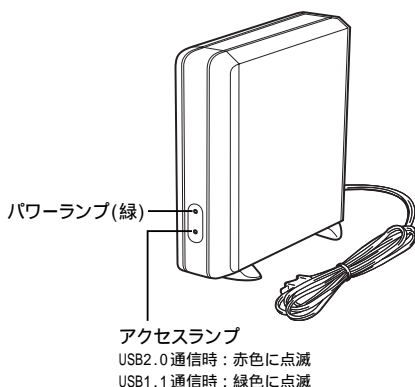
本製品は起動用ハードディスクとしては使用でき  
ません(OSを起動できません)。あらかじめご了承  
ください。

# 1

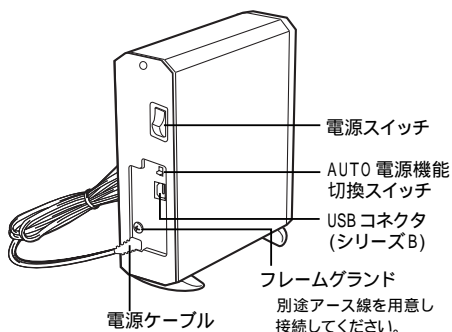
はじめに

### 各部の名称

前面



背面

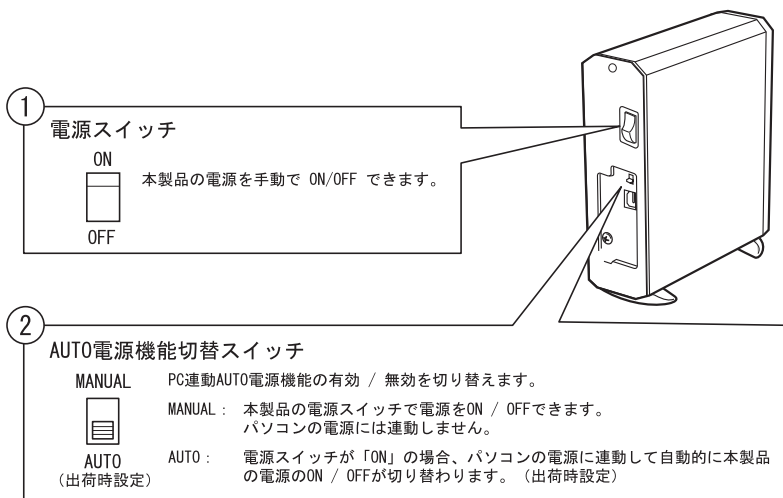


付属品の確認は別紙の「はじめにお読  
みください」を参照してください。

# 電源のON/OFF

本製品の電源は、「PC連動AUTO電源機能」によってパソコン本体の電源ON/OFFに合わせて自動でON/OFFすることも、手動でON/OFFすることもできます。

出荷時は、PC連動AUTO電源機能が有効になっています。



## △注意 Mac OS X 10.0.4以降をお使いの方へ

Mac OS X 10.0.4以降をお使いの場合は、AUTO電源切替スイッチを「AUTO」に設定してください。「MANUAL」に設定すると、本製品がマウントされないことがあります。

## △注意 「PC連動AUTO電源機能」使用時の注意

- ・パソコンによっては、パソコン本体の電源をOFFにしても本製品の電源がOFFにならないことがあります。この場合は、本製品の電源スイッチを操作してON/OFFを切り替えてください。
- ・本製品は必ず電源ケーブルを接続して使用してください。USBからの電源供給だけでは、本製品を使用できません。
- ・パソコンの電源スイッチをOFFにしてから本製品のパワーランプが消えるまでに、少し時間がかかることがあります。
- ・ACアダプタ付きのUSBハブに本製品を接続した場合、パソコンの電源スイッチをOFFにしても本製品のパワーランプが消えないことがあります。本製品の電源スイッチをOFFにするか、USBハブから本製品を取り外してください。

## △注意 本製品をNTFS形式でフォーマット(P21)された方へ

本製品のAUTO電源切替スイッチを「MANUAL」にしていると、正常に認識できないことがあります。正常に認識できなかった場合は、AUTO電源切替スイッチを「AUTO」にしてお使いください。

AUTO電源切替スイッチを「MANUAL」で使用したい場合は、Windowsが起動してから本製品の電源をONにしてください。正常に認識できるようになります。

# 2

## セットアップ

本製品のセットアップ手順を説明しています。

### セットアップのながれ

本製品のセットアップ手順は次のとおりです。

メモ  内の手順については、別紙「はじめにお読みください」を参照してください。

#### Windows搭載パソコン

本製品の電源ケーブルを  
コンセントに接続する

パソコンの電源スイッチをONにする

Windows98SE/98の場合は、付属の  
「HD-U2シリーズユーティリティCD」を  
CD-ROMドライブにセットする

Windows98SE/98の場合は、  
「簡単セットアップ」が起動したら、  
画面の指示に従って操作する

本製品をパソコンに接続する

これで本製品が使用できるようになります。

本製品は、出荷時にFAT32形式(1パーティション)で論理フォーマットされていますので、改めてフォーマットする必要はありません。本製品を複数の領域に分けてご使用になる場合のみフォーマットしてください。

#### Macintosh

本製品の電源ケーブルを  
コンセントに接続する

パソコンの電源スイッチをONにする

本製品をパソコンに接続する

- MacOS 9.0.4～9.2.2の場合  
MacOSに付属のフォーマッタで本製品をフォーマット(初期化)することをお勧めします【P26】。フォーマットせずに使用した場合、ファイル名に2バイトコード文字(全角文字)をするとパソコンが停止したり、ファイルが正常にコピーできないことがあります。
- MacOS X 10.0.4以降の場合  
MacOSに付属のフォーマッタで本製品をフォーマット(初期化)する【P27】。

2

セ  
ッ  
ト  
ア  
ッ  
プ


# Windows 搭載パソコンでのセットアップ手順

セットアップ手順は、別紙「はじめにお読みください」を参照してください。

PC98-NXシリーズを使用しているときは、CyberTrio-NXが「アドバンスモード」になっていることを確認してください。

アドバンスモードになっていないと、本製品のドライバをインストールできないことがあります。次の手順でアドバンスモードに変更してください。

## ・モードの確認方法

タスクバーに表示されているCyberTrio-NXのインジケータ  の色で確認できます。

赤	アドバンスモード	設定を変更する必要はありません。
黄	ベーシックモード	アドバンスモードに設定を変更してください。
緑	キッズモード / カスタムモード	アドバンスモードに設定を変更してください。

## ・「CyberTrio-NX」のモードの変更方法

再起動後もアドバンスモードになるように設定を変更します。詳しい手順はパソコン本体のマニュアルを参照してください。

[スタート]-[プログラム]- [CyberTrio-NX] - [Go To アドバンスモード]の順に選択します。アドバンスモードに切り替わります。

[スタート]-[プログラム]- [CyberTrio-NX] - [CyberTrio-NX セットアップ]の順に選択します。

[CyberTrio-NXのプロパティ]画面が表示されます。[アドバンスモード]を選択して[OK]をクリックします。

以上でアドバンスモードに設定されました。

本製品のドライバをインストールした後は、アドバンスモード以外のモードも使用できます。任意のモードに変更してください。

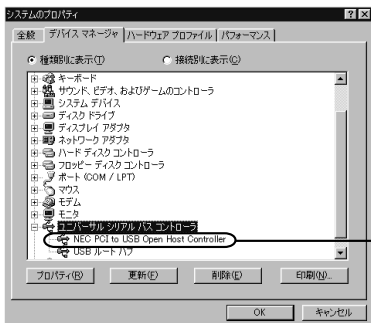
Windows98( Second Editionを除く )を使用しているときは、次の確認を行ってください。

[マイ コンピュータ] を右クリックします。

メニューが表示されたら、[プロパティ] をクリックします。

[デバイス マネージャ] をクリックします。

[ユニバーサル シリアル バス コントローラ]の下に表示されているデバイス名を確認します。



[NEC PCI to USB Open Host Controller] と表示されている場合は、Windows98 System Updateをインストールする必要があります。[NEC PCI to USB Open Host Controller] が表示されていない場合は、Windows98 System Updateのインストールは不要です。

Windows98 System Updateは、マイクロソフト社のWindows Updateサイト(<http://windowsupdate.microsoft.com/>)でインストールができます。

**メモ** ・本製品は、出荷時にFAT32形式(1パーティション)で論理フォーマットされていますので、通常は改めてフォーマットする必要はありません。

・本製品を複数の領域に分けてご使用になる場合は、ご使用前にフォーマットしてください。【P17「フォーマット」】



# Macintoshでのセットアップ手順

パソコンに本製品を接続します。

**△注意** ・別紙「はじめにお読みください」を参照して、あらかじめ本製品に縦置き用スタンド(またはゴム足)を取り付けておいてください。

## 1 本製品とパソコンの電源スイッチをONにします。

## 2 付属のUSBケーブルを本製品のUSBコネクタに接続します。

USBケーブルの2つのコネクタは、それぞれ形状が異なります。形状をよく確認して接続してください。

< USBケーブルのコネクタ形状 >

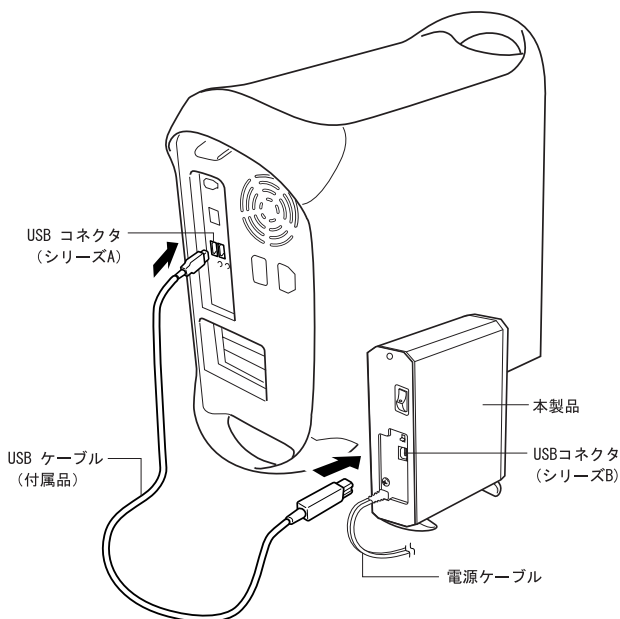


シリーズA  
(パソコン側に接続)



シリーズB  
(本製品に接続)

## 3 パソコンのUSBコネクタ(シリーズA)にUSBケーブルを接続します。

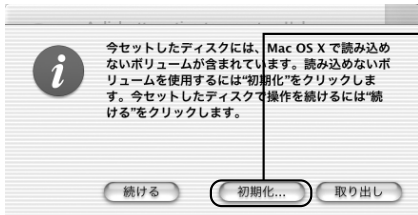


次のページへ続く

## Mac OS X 10.0.4以降をお使いの場合

本製品を接続すると、以下の画面が表示されることがあります。その場合は、[初期化 ...]をクリックしてください。

1



[初期化...] をクリックします。クリックすると、「Disk Utility」が起動します。

この画面は、Mac OS X 10.1の画面です。Mac OS X 10.0.4では、少し画面が異なります。

2 Disk Utilityが起動したら、「Mac OS X 10.0.4以降」(P27)の手順4以降に従って本製品を初期化します。

▼次へ 本製品を初期化します。【P27「MacOS X 10.0.4以降」】

以上で本製品の接続は完了です。

☒×☒ 正常に接続されていけば、デスクトップに本製品のアイコンが追加されます。本製品のアイコンが追加されない場合は、以下のことを確認してください。

- ・本製品の電源がONになっているか。
- ・USBケーブルや電源ケーブルは正しく接続されているか。

▼次へ ・MacOS 9.0.4～9.2.2でご使用の場合は本製品が使用できるようになりますが、MacOS拡張フォーマットで初期化を行うことをお勧めします。MacOS拡張フォーマットで初期化しない場合、ファイル名に2バイトコード文字( 全角文字 )を使用するとパソコンが停止したり、ファイルが正常にコピーできないことがあります。

- ・MacOS X 10.0.4以降でご使用の場合は、続いて本製品をフォーマットします。

## 使用上の注意

- △注意** ・本製品に仮想メモリを割り当てないでください。本製品を取り外した際に、ハードディスク内のデータが破壊されるおそれがあります。
- ・本製品のアクセスランプが点灯または点滅しているときは、絶対にUSBケーブルや電源ケーブルを抜いたり、パソコンの電源スイッチをOFFにしたりしないでください。データが破損するおそれがあります。
- ・パソコン本体の省電力モード(スタンバイ、休止状態、スリープなど)は無効にしてください。データが破損したり、省電力モードから復帰できないことがあります。

PC連動AUTO電源機能について

- ・本製品のスイッチを正しく設定すると、USBから電源が供給されたときに電源がONになります。【P8】
- ・本製品は必ず電源ケーブルを接続して使用してください。USBからの電源供給だけでは、本製品を使用できません。
- ・パソコンの電源スイッチをOFFにしてから本製品のパワーランプが消えるまでに、少し時間がかかることがあります。
- ・ACアダプタ付きのUSBハブに本製品を接続した場合、パソコンの電源スイッチをOFFにしても本製品のパワーランプは消えません。本製品の電源をOFFにするか、USBハブから本製品を取り外してください。

MacOS X 10.0.4以降をご使用の方は、本製品を使用する前に必ずフォーマット(初期化)してください。【P27】

本製品はホットプラグに対応しています。

本製品やパソコンの電源スイッチがONのときでもUSBケーブルを抜き差してきます。ただし、必ず定められた手順に従って取り外してください。【P15「本製品の取り外しかた」】

**△注意** 本製品にアクセスしているとき(アクセスランプが点灯しているとき)は、絶対にUSBケーブルを抜かないでください。本製品に記録されたデータが破損するおそれがあります。

複数のUSB機器と併用したいときは、弊社製USBハブUHB-S7/S4(別売)などを使用してください。

パソコン本体と周辺機器のマニュアルも必ず参照してください。

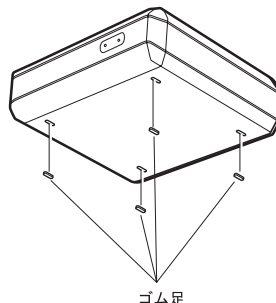
本製品からOSを起動することはできません。

本製品を横置きにする場合

付属のゴム足(4個)を本製品の底面のくぼみに貼り付けてください。

ゴム足には両面テープが付いています。

- △注意** ・右図のとおりゴム足を取り付けてください。
- ・本製品を積み重ねないでください。



ゴム足

次のページへ続く



### 本製品の発熱について

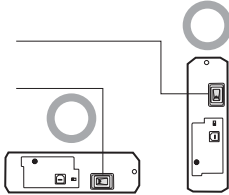
本製品は筐体を利用して内部からの熱を放熱しております。筐体表面が熱くなりますが、異常ではありません。また、PC連動AUTO電源機能を使用しているときは、電源がOFFの状態でも、待機電流のため少し温かくなります。熱がこもると故障の原因となりますので、次の事項は行わないでください。

- ・本製品を積み重ねないでください。
- ・本製品の上や周りに放熱を妨げるような物を置かないでください。
- ・本製品に布などをかぶせないでください。

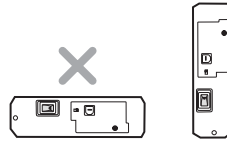
本製品は次のように設置してください(図は背面から見たところです)。

#### <良い設置例>

- 電源スイッチを上にしませう。
- 電源スイッチを右にしませう。



#### <悪い設置例>



**注意** 動作中に本製品を移動させたり、設置方向を変えないでください。本製品の破損の原因となります。

本製品に物を立てかけないでください。  
転倒して故障する恐れがあります。

WindowsXP搭載のパソコンで使用する場合

本製品をUSB1.1準拠のUSBコネクタに接続すると、「高速USBデバイスが高速ではないUSBハブに接続されています。(以下略)」と表示されます。そのまま使用する場合は、[×]をクリックしてください。

FAT32形式のハードディスクに保存できる1ファイルの最大容量は4GBです。

本製品はFAT32形式でフォーマットされているため、1ファイルの最大容量が4GBとなります。WindowsXP/2000やMacOSをお使いの場合には、NTFS形式やMacOS拡張フォーマット形式で本製品をフォーマット(初期化)すれば1ファイルが4GB以上のファイルでも保存できるようになります。

WindowsMe/98SE/98付属のドライブスペース3は使用しないでください。  
パソコンの動作が不安定になる恐れがあります。

Macintoshでリカバリするときは、本製品を取り外してください。  
取り外さないでリカバリできないことがあります。

本製品の動作時、特に起動時やアクセス時などに音がすることがありますが、異常ではありません。


# 本製品の取り外しかた

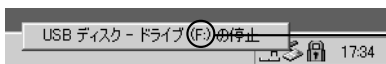
パソコンの電源スイッチがONのときは、次の手順で本製品を取り外します。

☑ **メモ** パソコンの電源スイッチがOFFの時は、そのまま取り外せます。

## WindowsMe

**注意** 必ず次の手順に従って取り外してください。次の操作を行わずに本製品を取り外すと、エラーメッセージが表示されます。

- 1 タスクバーのステータス表示領域に表示されているアイコンをクリックします。
- 2 メニューが表示されたら、[ USB ディスク - ドライブ(X:)の停止 ]をクリックします。  
下線部には、本製品に割り当てられたドライブ名が表示されます。



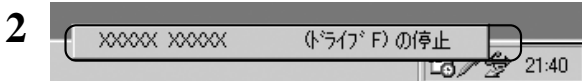
本製品に割り当てられているドライブ名が表示されます。

- 3 「取り外すことができます。」と表示されたら、[ OK ]をクリックします。
- 4 本製品を取り外します。

## Windows98SE/98

**注意** 必ず次の手順に従って取り外してください。次の操作を行わずに本製品を取り外すと、エラーメッセージが表示されます。

- 1 タスクバーのステータス表示領域に表示されているアイコンをクリックします。





ドライブ名(製品によって異なります)をクリックします。

- 3 「取り外すことができます。」と表示されたら、[ OK ]をクリックします。
- 4 本製品を取り外します。

3

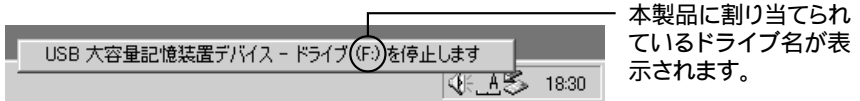
使  
い  
か  
た

- △注意** 必ず次の手順に従って取り外してください。次の操作を行わずに本製品を取り外すと、エラーメッセージが表示されます。以下の説明では、Windows2000の画面を使用しています。  
NTFSでフォーマットしたパーティションがある場合、以下の手順では取り外しできないことがあります。その場合は、パソコンの電源をOFFしてから本製品を取り外してください。


**1** タスクバーのステータス表示領域に表示されているアイコン (WindowsXP) /  (Windows2000)をクリックします。

**2** メニューが表示されたら、[USB大容量記憶装置デバイス - ドライブ(X:)を停止します]をクリックします。

下線部には、本製品に割り当てられたドライブ名が表示されます。  
WindowsXPの場合は、メッセージが少し異なります。



**3** [USB大容量記憶装置デバイスは安全に取り外すことができます。]と表示されたら、[OK]をクリックし、本製品を取り外します。

 WindowsXPの場合は、[OK]をクリックする必要はありません(表示は自動的に消えます)。

## Macintosh

**1** 本製品のアクセスランプが消えていることを確認し、デスクトップにあるハードディスク(本製品)のアイコンをゴミ箱にドラッグアンドドロップします。

**△注意** 本製品に複数のパーティションを作成した場合は、すべてのパーティションのアイコンを、ゴミ箱にドラッグアンドドロップしてください。

**2** 本製品を取り外します。

# 4

## フォーマット

本製品をフォーマット（初期化）する方法を説明しています。

### ご注意

本製品は出荷時に FAT32 形式（1 パーティション）でフォーマットされています。Windows や MacOS 9.0.4 ~ 9.2.2 でご使用になる場合、通常はそのままの状態でご使用いただけます。

**本製品を複数の領域に分けて使用したり（ 1）、ファイル名に2 バイトコード文字（全角文字）を使用する場合（ 2）、MacOS X 10.0.4 以降でご使用になる場合は、以下に記載の手順でフォーマットしてください。**

- 1 MacOS 9.0.4 ~ 9.2.2 標準のディスクの初期化機能では、本製品を複数の領域に分けて使用できません。
- 2 MacOS 9.0.4 ~ 9.2.2 をお使いの場合のみ。

フォーマット中は、絶対にパソコンの電源スイッチを OFF にしたり、リセットしないでください。

ディスクが破損するなどの問題が発生します。また、以後の動作についても保証できません。ご注意ください。

フォーマットすると、ハードディスク内にあるデータは失われます。フォーマットする前に、ハードディスクの使用環境をもう一度よく確認してください。

ハードディスクのフォーマットは、お客様ご自身の責任で行うものです。

誤って大切なデータやプログラムを削除しないように、フォーマットを実行するディスクが何台目のディスクか、パーティション名は何か必ず確認しておいてください。

### フォーマットのしかた

使用している OS に応じて、次のページを参照してください。

- WindowsXP/2000.....【P18】
- WindowsMe/98SE/98.....【P19】
- Mac OS 9.0.4 ~ 9.2.2 .....【P26】
- Mac OS X 10.0.4 以降 .....【P27】

次のページへ続く

## WindowsXP/2000 をお使いの方へ

WindowsXP/2000 をお使いの場合、2種類のフォーマット方法があります。用途に応じて以下のページを参照しフォーマットしてください。

キャプチャを使っている  
キャプチャボードなどでテレビやビデオの映像を録画したデータを本製品に保存する場合。

DVDを作ることがある  
本製品を取り付けたパソコンでDVD-Videoやデータディスク(DVD)を作成する場合。

容量が4GB以上のファイルを保存したい  
1ファイルが4GB以上の容量を持つファイルを本製品に保存したい場合。

NTFS形式でフォーマットしたい  
本製品をNTFS形式でフォーマットしたい場合。

「DVD作成やキャプチャを行う  
(1ファイルの容量が4GBを超える  
可能性がある) 場合

【WindowsXP/2000のみ】 【P21】

1ファイルが4GBを超えるファイルを保存することができます。

本製品をNTFS形式でフォーマットします。

**△注意** この手順でフォーマットした場合、WindowsMe/98SE、Macintoshなどからアクセスはできません。

簡単にフォーマットしたい  
簡単にフォーマットしたい場合。ただし、1ファイルの容量が4GB以上のファイルは保存できません。

マルチブート環境などで他のOSからもアクセスしたい

WindowsXP/2000の他に、WindowsMe/98SEなどからアクセスしたい場合。

FAT32またはFAT16形式でフォーマットしたい

本製品をFAT32形式またはFAT16形式でフォーマットしたい場合。

「WindowsXP/2000/Me/98SE/98  
をお使いの場合」 【P19】

簡単にフォーマットすることができます。また、マルチブート環境での使用に適しています。本製品をFAT32形式またはFAT16形式でフォーマットします。

**△注意** 1ファイルが4GB以上のファイルを保存できません。

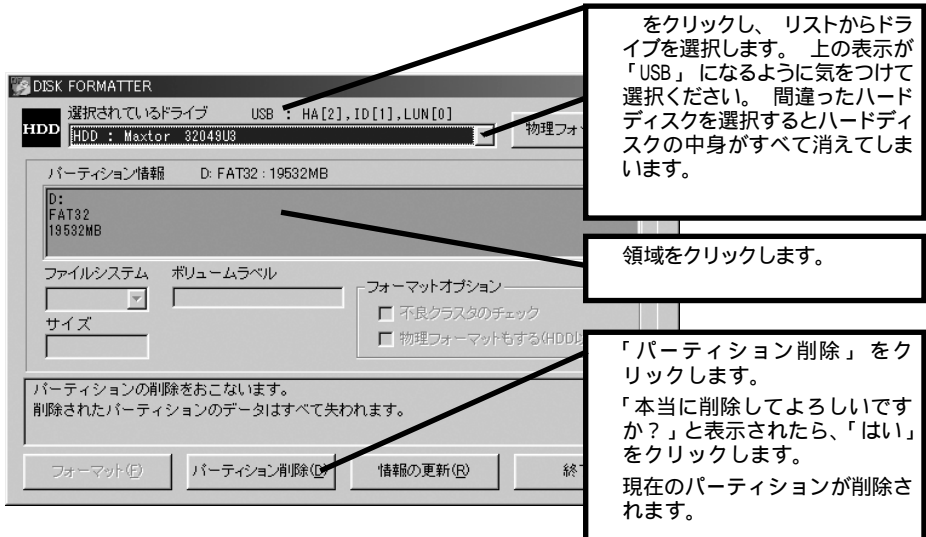


## WindowsXP/2000/Me/98SE/98 をお使いの場合

**△注意** FAT32 形式でフォーマットした場合、1 ファイルの最大容量は4GB となります。WindowsXP/2000 をお使いの場合には、【P21 「DVD 作成やキャプチャを行う（1 ファイルが4GB を超える可能性がある）場合】の方法でフォーマットすれば1 ファイルが4GB 以上のファイルでも保存できます。

ここでは例として、本製品の出荷時状態から再度フォーマットする手順を説明します。  
フォーマットする前に本製品をパソコンに接続してください。

[スタート] - [プログラム] - [BUFFALO] - [DISK FORMATTER] - [DISK FORMATTER] の順に選択し、Disk Formatter を起動します。



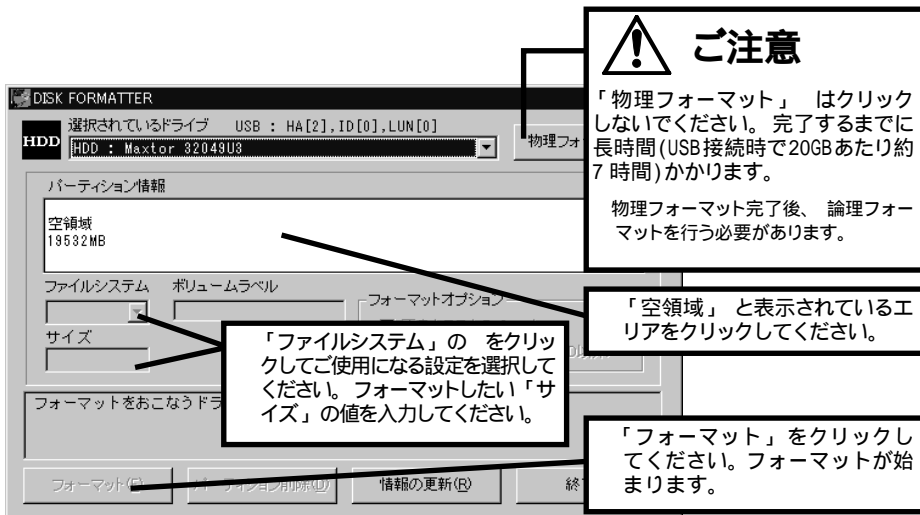
The screenshot shows the Disk Formatter application window. The selected drive is USB: HA [2], ID [1], LUN [0]. The partition information shows D: FAT32 : 19532MB. The file system is FAT32 and the volume label is empty. The format options include 'Check for bad clusters' and 'Physical format (HDD)'. The 'Partition deletion' button is highlighted with a callout box.

をクリックし、リストからドライブを選択します。上の表示が「USB」になるように気をつけて選択ください。間違ったハードディスクを選択するとハードディスクの中身がすべて消えてしまいます。

領域をクリックします。

「パーティション削除」をクリックします。  
「本当に削除してよろしいですか？」と表示されたら、「はい」をクリックします。  
現在のパーティションが削除されます。

パーティション情報に「空領域」が表示されたことを確認してください。「空領域」が表示されたら、以下の手順に進みます。



「フォーマットは正常に終了しました」と表示されたら、[OK]をクリックし、P15の手順にて、いったん本製品をパソコンから取り外します。

再度ケーブルを接続すると、フォーマットしたドライブが有効になります。

**△注意** 137GB を超える容量のハードディスクをお使いの方へ

137GB を超える容量のハードディスクを Windows98SE/98 にてご使用の場合、スキャンディスクを実行しようとするエラーが発生します (Windows98SE/98 の仕様です)。  
スキャンディスクを実行する場合は、1パーティションのサイズを 130GB 以下に変更してご使用ください。

**△注意** ・フォーマットするドライブを間違えないでください。

・FAT16 から FAT32 に変換する場合は、本製品をもう一度 FAT32 でフォーマットしてください。OS に付属の「ドライブコンバータ」で FAT16 から FAT32 に変換すると、エラーが発生し、FAT32 に変換できない場合があります。

**□メモ**

・2047MB を超える容量を1つの領域として確保する場合は、[ファイルシステム] に [FAT32] を選択してください。[FAT16] では、1つの領域は最大 2047MB となります。

・Disk Formatter に関する詳細は、付属の「HD-U2 シリーズユーティリティ CD」に収録されている「Disk Formatter ソフトウェアマニュアル」を参照してください。

次のページへ続く

# DVD 作成やキャプチャを行う (1 ファイルが 4GB を超える可能性がある) 場合【WindowsXP/2000 のみ】

ここでは NTFS 形式でフォーマットする手順を説明します。

フォーマットする前に本製品をパソコンに接続してください。

- △注意**
- ・本製品は、ダイナミックディスクにアップグレードすることはできません。  
ダイナミックディスクについては、Windows のヘルプを参照してください。
  - ・マルチブート環境などで他の OS からアクセスする場合は、NTFS 形式でフォーマットしないでください。他の OS からはファイルを参照できません。
  - ・以下の説明では、Windows2000 の画面を使用しています。

1 WindowsXP/2000を起動し、コンピュータの管理者権限(Administratorなど)があるユーザーでログオンします。


2 デスクトップにある [マイコンピュータ] を右クリックし、[管理] をクリックします。  
(WindowsXP の場合は、[スタート] をクリックし、[マイコンピュータ] を右クリックし、[管理] をクリックします。)

3



[ ディスクの管理 ] をクリックします。

4



ボリューム	レイアウト	種類	ファイルシステム	状態	容量
(D:)	パーティション	ベジック	NTFS	正常 (システム)	853 GB
(D:)	パーティション	ベジック	FAT32	正常	408 GB
(F:)	パーティション	ベジック	FAT32	正常	111.76 GB

本製品に割り当てられているドライブを確認します。

ドライブを間違えると、ハードディスク内のデータがすべて消えてしまいますので、ご注意ください。

次のページへ続く

5



本製品に割り当てられている領域を右クリックします。

[パーティションの削除]をクリックします。

6

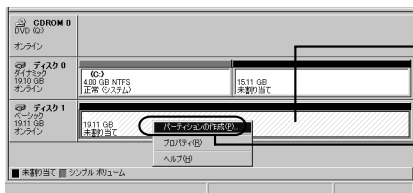
「パーティションを削除しますか?」と表示されたら、[はい]をクリックします。  
パーティションが削除されます。

7



未割り当て領域が表示されます。

8



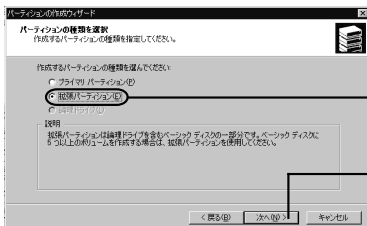
未割り当て領域を右クリックします。

[パーティションの作成] (WindowsXPの場合は[新しいパーティションの作成])をクリックします。

9

[パーティションの作成ウィザードの開始] (WindowsXPの場合は[新しいパーティションウィザードの開始])と表示されたら、[次へ]をクリックします。

10

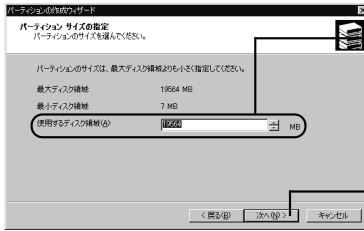


[拡張パーティション] をクリックして (・) を付けます。

[次へ] をクリックします。

次のページへ続く

11



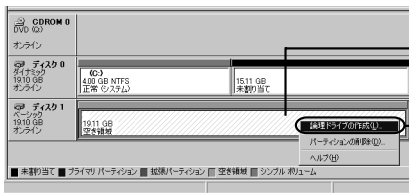
[使用するディスク領域] でサイズを指定します(WindowsXP の場合は[パーティション サイズ]でサイズを指定します)。  
サイズを変更する必要がない場合は、初期設定のまま最大値で確保します。

[次へ] をクリックします。

12

[パーティションの作成ウィザードの完了](WindowsXP の場合は[新しいパーティションウィザードの完了])と表示されたら、[完了]をクリックします。

13



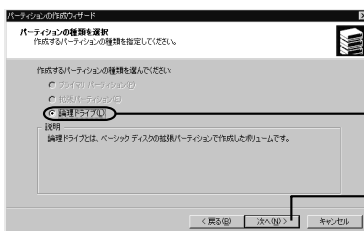
空き領域を右クリックします。

[論理ドライブの作成](WindowsXP の場合は[新しい論理ドライブ])をクリックします。

14

[パーティションの作成ウィザードの開始](WindowsXP の場合は[新しいパーティションウィザードの開始])と表示されたら、[次へ]をクリックします。

15



[論理ドライブ] が選択されていることを確認します。

[次へ] をクリックします。

4

フ  
ォ  
ィ  
マ  
ン  
ト

次のページへ続く

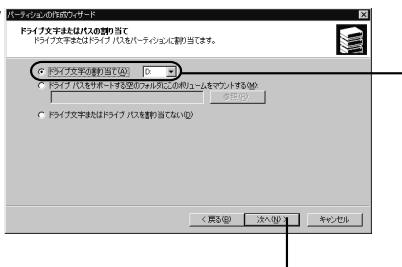
## 16



[使用するディスク領域] でサイズを指定します(WindowsXP の場合は[パーティション サイズ]でサイズを指定します)。  
サイズを変更する必要がない場合は、初期設定のまま最大値で確保します。

[次へ] をクリックします。

## 17

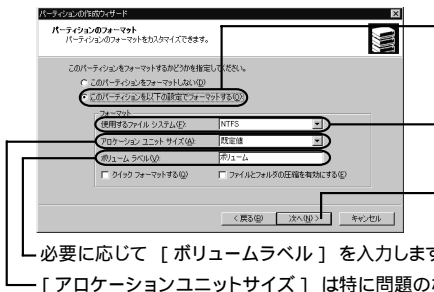


[ドライブ文字の割り当て] (WindowsXP の場合は[次のドライブ文字を割り当てる]) をクリックし、ドライブ文字を指定します。

特に設定を変更する必要がなければ、初期設定のままにしてください。

[次へ] をクリックします。

## 18 フォーマット形式などを設定します。



[このパーティションを以下の設定でフォーマットする] をクリックし、(・) を付けます。

[NTFS] を選択します。

各項目を設定したら、[次へ] をクリックします。


必要に応じて [ボリュームラベル] を入力します。

[アロケーションユニットサイズ] は特に問題のない限り、初期設定のまま使用します。

**注意** 本製品にパーティションが1つも存在しないときは、[クイックフォーマットする] にチェックマーク(✓)を付けしないでください。チェックマーク(✓)を付けると、フォーマットが正常に終了できないことがあります。

## 19 [パーティションの作成ウィザードの完了](WindowsXPの場合は[新しいパーティションウィザードの完了])と表示されたら、[完了]をクリックします。

フォーマットが始まり、進行状況が%表示されます。

 フォーマットを中止する場合は、フォーマット中のパーティションを右クリックし、表示されたメニューの中の [フォーマットの中止] をクリックします。

## 20




フォーマットが正常に終了すると、ボリュームラベルとパーティションに加えて、「正常」と表示されます。

「ボリュームは開かれているか、または使用中です。要求を完了できません。」というメッセージが表示された場合

パーティションは作成されていますが、フォーマットは完了していません。[OK]をクリックし、作成したパーティションを次の手順でフォーマットしてください。

- 1 作成したパーティションを右クリックして [フォーマット] を選択します。
- 2 必要に応じてボリュームラベルやファイルシステムを設定し、[次へ] をクリックします。  
**△注意** [クイックフォーマットする] にチェックマーク (✓) を付けると、クイックフォーマットを行います。フォーマット時間が短縮されます。
- 3 以降は画面のメッセージに従って操作します。

以上でフォーマットは完了です。

 本製品を複数の領域に分割して使用するときは、手順 16 でサイズを指定し、以下手順 20 までを作成する数だけ繰り返します。

ここでは例として、本製品をMacOS 拡張フォーマットで初期化する手順を説明します。

**△注意** フォーマット（初期化）するときには、必ず Mac OS のマニュアルを参照してください。

1 [アップルメニュー] - [コントロールパネル] - [機能拡張マネージャ]をクリックします。

2



「File Exchange」の左の[x]をクリックし、[ ]にします。

[再起動] をクリックします。

3 パソコンが再起動したら、本製品を接続します。

「このディスクは、このコンピュータで読めません。ディスクを初期化しますか?」というメッセージが表示された場合

ディスクを初期化します。手順 6 へ進んでください。

4 デスクトップ上にある HD-U2 のディスクアイコンをクリックして選択します。

5 画面上部にあるメニューバーの [特別] をクリックし、[ディスクの初期化] をクリックします。

6 「名前」にドライブ名称を入力し、「フォーマット」に [Mac OS 拡張] を選択して [初期化] をクリックします。  
本製品の初期化が始まります。

7 [アップルメニュー] - [コントロールパネル] - [機能拡張マネージャ] をクリックします。

8 「File Exchange」の左の [ ] をクリックして [x] にし、[再起動] をクリックします。  
パソコンが再起動します。

以上で初期化は完了です。



# Mac OS X 10.0.4 以降

Mac OS X の Disk Utility を使ってパーティションを作成し、本製品をフォーマットします。

**△注意** フォーマットすると、ディスク上にあるデータやパーティションはすべて消去されます。フォーマットするディスクを間違えないように、十分注意してください。

- 1 デスクトップの [Macintosh HD] をダブルクリックします。
- 2 [Applications] フォルダの中の [Utilities] フォルダを開きます。  
(Mac OS X 10.2 以降の場合は、[アプリケーション] フォルダの中の [ユーティリティ] フォルダを開きます。)
- 3 [Disk Utility] をダブルクリックします。  
(Mac OS X 10.2 以降の場合は、[ディスクユーティリティ] をダブルクリックします。)

## 4 Mac OS 10.0.4 の画面



[Drive Setup] をクリックします。

フォーマットするディスクをクリックします。

フォーマットするディスクの情報を確認します。ディスクの情報は製品によって異なります。

## Mac OS X 10.1/10.2 以降の画面



フォーマットするディスクをクリックします。

[情報] をクリックします。

フォーマットするディスクの情報を確認します。ディスクの情報は製品によって異なります。

画面は Mac OS X 10.2 の例です。

## 5 Mac OS X 10.0.4 の画面



[パーティション] をクリックします。

パーティション方式(作成するパーティションの数)を設定します。

パーティション情報を設定します。フォーマットは通常、[Mac OS 拡張]を選択してください。

[パーティション] をクリックします。

## Mac OS X 10.1 の画面

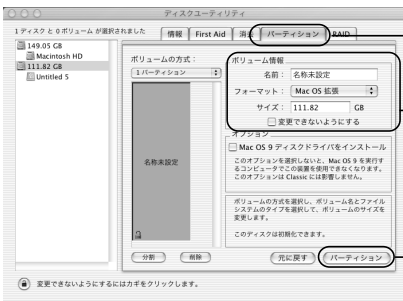


[パーティション] をクリックします。

パーティション情報を設定します。フォーマットは通常、[Mac OS 拡張]を選択してください。

[OK] をクリックします。

## Mac OS X 10.2 以降の画面



[パーティション] をクリックします。

パーティション情報を設定します。フォーマットは通常、[Mac OS 拡張]を選択してください。

[パーティション] をクリックします。

設定したパーティションは、すべて一括でフォーマットされます。  
また、設定方法については、Mac OS のヘルプも参照してください。

6 「(略)この操作は取り消せません。この操作を実行してもよろしいですか?」と表示されたら、[パーティション] をクリックします。

以上で本製品のフォーマットは完了です。Disk Utility は終了してください。

## バックアップ

### バックアップの必要性

ハードディスクに蓄えられた重要なデータを保護するために、外部のメディアにデータの複製を作成することを「バックアップ」といいます。大容量ハードディスクには、日々大量のデータが格納されます。事故や人為的なミスなど不測の事態でデータを失うことは、業務上大きな損失となります。

**△注意** ハードディスクを使用する場合は、定期的にバックアップを作成してください。

### バックアップ用のメディア

バックアップ用のメディアには次のようなものがあります。

- ・ フロッピーディスク
- ・ 光磁気ディスク (MO)
- ・ 増設ハードディスク
- ・ ネットワーク (LAN) サーバ
- ・ CD-R/RW
- ・ DVD-RAM

大容量ハードディスクのバックアップ先としてフロッピーディスクを選んだ場合、大量のフロッピーディスクが必要になります。また時間もかかるため、効率的な手段とはいえません。可能な限りMOなど容量の大きいメディアにバックアップすることをおすすめします。

増設ハードディスクにバックアップする場合は、そのハードディスクをバックアップ専用にするをおすすめします。

**□メモ** Windows98付属のバックアップツールを使って、MOにデータをバックアップする場合、バックアップするファイル容量の合計がMOディスクの空き容量を超えないようにしてください。(Windows98付属のバックアップツールの仕様です)。バックアップするときは必要なファイルだけを選択し、MOディスクの空き容量に納まるようにしてください。

### バックアップデータの復元 (リストア)

バックアップデータを元のハードディスクに復元することをリストアといいます。

リストアコマンド/ツールは、一般的にバックアップコマンド/ツールで指定されたもの以外は使用できません。マニュアルなどで確認して使用してください。

# メンテナンス

Windows 付属のツールを使用したハードディスクのメンテナンスについて説明します。

## ハードディスクのエラーチェック（スキャンディスク）

Windows には、ハードディスクのエラー（異常）をチェックするためのツールが付属しています。このツールはエラーを修復することもできます。ハードディスクを安全に使用するために、ハードディスクを定期的にチェックすることをおすすめします。

- ❖ **メモ** ・エラーのチェック方法は、Windowsのヘルプやマニュアルを参照してください。
  - ・Macintoshには、ハードディスクのエラーをチェックするためのツールは付属していません。ディスクのチェックには、市販のユーティリティを使用してください。

## ハードディスクの最適化（デフラグ）

ハードディスクを長期間使用してファイルの書き込みや削除を繰り返していると、ファイルが分断されてディスクのあちこちに散らばってしまいます。これを断片化（フラグメンテーション）といいます。断片化されたファイルは、読み書きする際にディスクのあちこちにアクセスしなくてはならないため、時間がかかっています。

このように散らばってしまったファイルをきれいに並べなおすことを、最適化（デフラグメンテーション）といいます。ハードディスクを最適化すると、ディスクアクセスの速度が改善されます。

Windows には、断片化したハードディスクを最適化するためのツールが付属しています。ハードディスクを快適に使用するために、定期的にハードディスクを最適化することをおすすめします。

- ❖ **メモ** ・最適化の方法は、Windowsのヘルプやマニュアルを参照してください。
  - ・Macintoshには、ハードディスクを最適化するためのツールは付属していません。ディスクの最適化には、市販のユーティリティを使用してください。

## 特定のソフトウェアが使用できない場合

パソコン標準搭載のハードディスクを対象にしたソフトウェア（ ）上で、本製品を使用できないことがあります。

その場合は、パソコンに標準搭載のハードディスクを使用するか、他のソフトウェアを使用してください。

ソフトウェアの仕様はソフトウェアメーカー（プリインストールソフトではパソコンメーカーの場合があります）にご確認ください。

# Disk Formatter のアンインストール (Windows)

付属ソフト「Disk Formatter」が不要になったときは、以下を参照してアンインストールしてください。

- 1 [スタート]-[プログラム]-[BUFFALO]-[DISK FORMATTER]-[アンインストーラ]の順に選択します。
- 2 以降は画面の指示に従って操作します。

以上でDisk Formatter のアンインストールは完了です。

# 仕様

最新の製品情報や対応機種については、カタログまたはインターネットホームページ（buffalo.jp）を参照してください。

インターフェース		USB
準拠規格		USB Specification Rev2. 0
コネクタ		USB シリーズ B コネクタ
セクタ容量		512Bytes
シークタイム		最大11msec
転送速度		最大480Mbps (※1)
出荷時フォーマット形式		FAT32 (1パーティション)
外形寸法		53 (W) × 173 (H) × 164 (D) mm
消費電力		最大25W、平均17W
電源		AC100V 50/60Hz
動作環境	温度	5～35℃
	湿度	20～80% (結露なきこと)
対応機種		USBコネクタを標準搭載する次のパソコン ・ DOS/V機 (OADG仕様) ・ NEC製 PC98-NXシリーズ ・ Apple製 Macintosh (※2) 弊社製USBボード (別売) を搭載した次のパソコン ・ DOS/V機 (OADG仕様) ・ NEC製 PC98-NXシリーズ
対応OS	DOS/V機 PC98-NXシリーズ	WindowsXP/2000、WindowsMe (Millennium Edition)、 Windows98SE (Second Edition)、Windows98
	Macintosh	Mac OS 9. 0. 4以降、Mac OS X 10. 0. 4以降

1 本製品を、USB2. 0 で規定されている HS モード (最大転送速度 480Mbps) で使用するには、弊社製 USB2. 0 インターフェース (またはUSB2. 0 に対応したパソコン本体) が必要です。

2 iMac DV で本製品を使用する場合は、Mac OS のバージョンが 9. 1 または 9. 0. 4 である必要があります。

---

HD-U2シリーズ ユーザーズマニュアル

2003年11月6日 初版発行  
発行 株式会社バッファロー

